

市の現状

令和4年 7月1日 現在

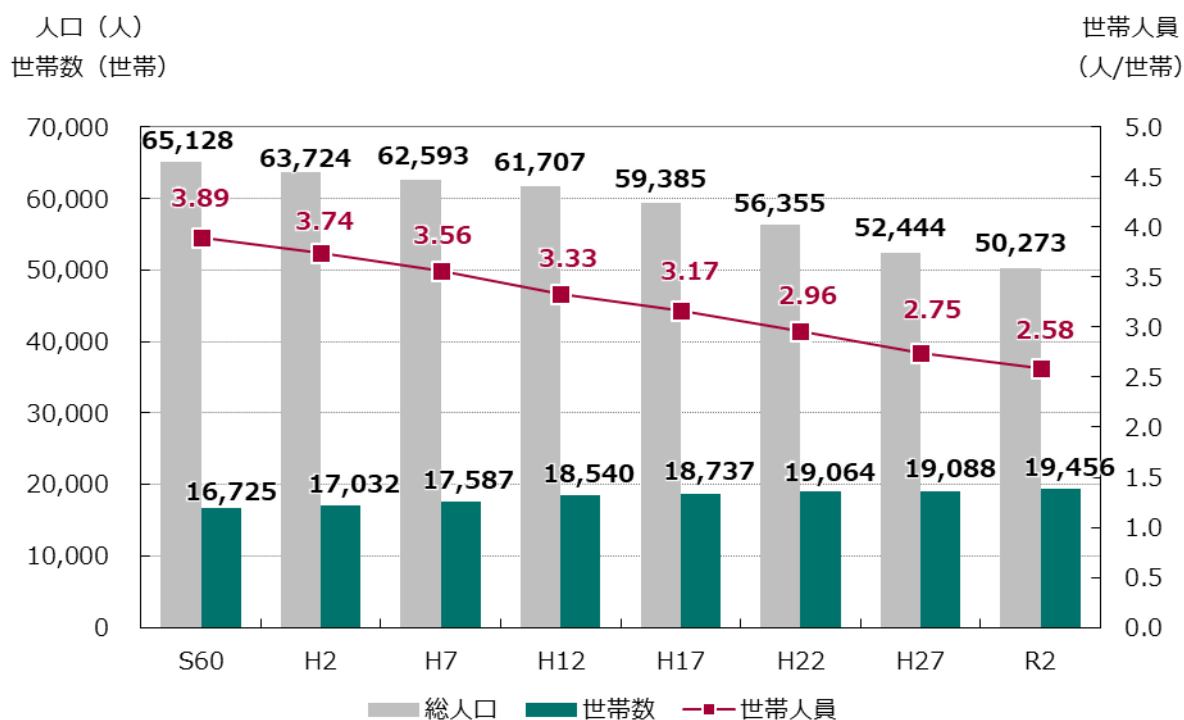
1. 人口・世帯

(1) 人口・世帯の推移

本市の人口は、令和2年10月の国勢調査時点で、50,273人となっています。推移をみると、直近10年間(平成22年と令和2年を比較)では、約6,000人減少しています。

1世帯あたり人数は、平成22年の2.96人から令和2年には2.58人と減少しており、核家族化、少子化などが進んでいる状況がうかがえます。

■ 人口と世帯数

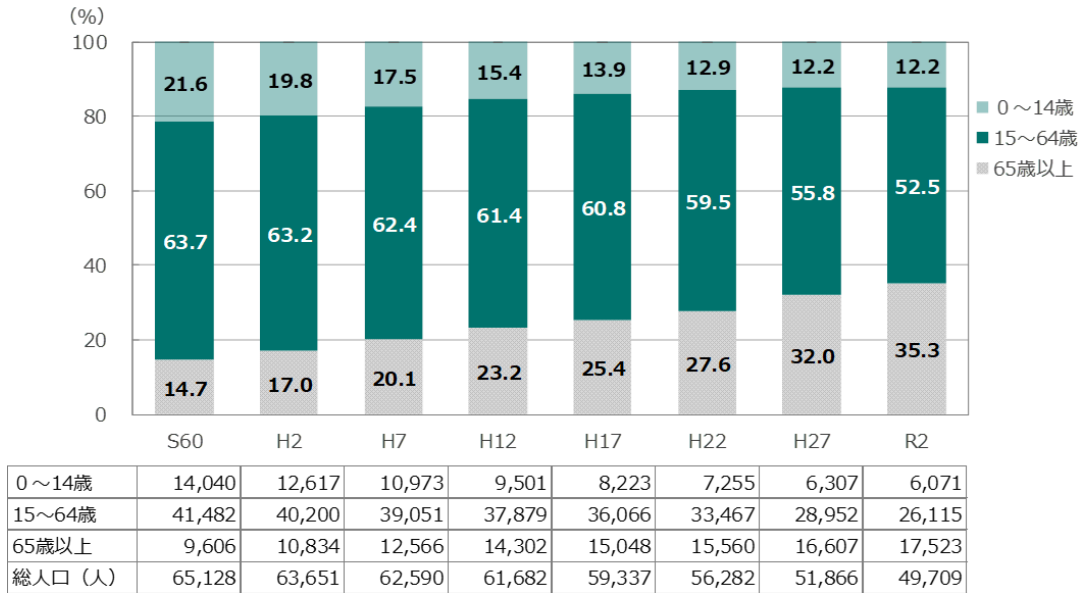


出典:総務省「国勢調査」

(2) 年齢構成の変化

朝倉市の年齢3区分の人口構成比の推移では、65歳以上の高齢化率が平成7年に20%を超え、令和2年時点では35.3%まで増加し、市民の3人に1人が高齢者という状況です。

■ 年齢階層別人口構成比



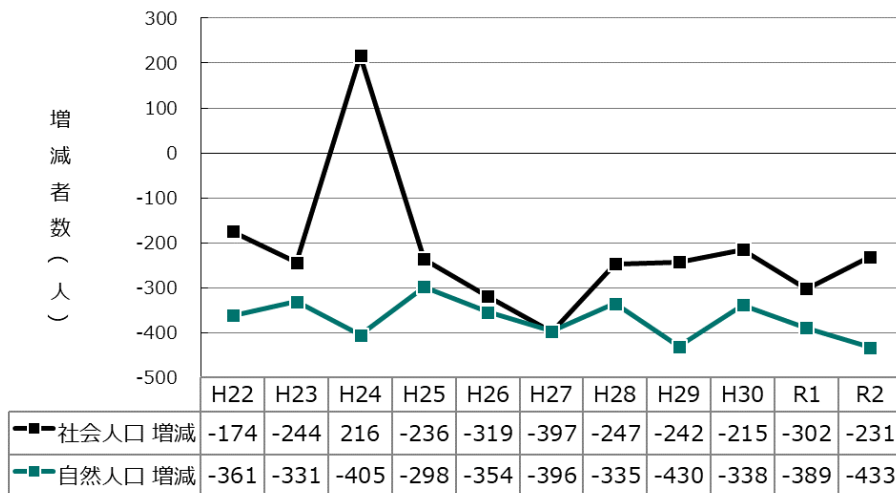
出典：総務省「国勢調査」(年齢不詳除く)

※小数点端数表示の関係で、項目ごとの%を足し上げても100%になりません。

(3) 人口の社会増減・自然増減

朝倉市の人口動態は、自然人口増減(出生死亡)、社会人口増減(転入転出)ともに減少となっています。自然人口増減は、死亡超過となっており、年間約300～400人の減少で推移しています。

■ 社会増減・自然増減の推移



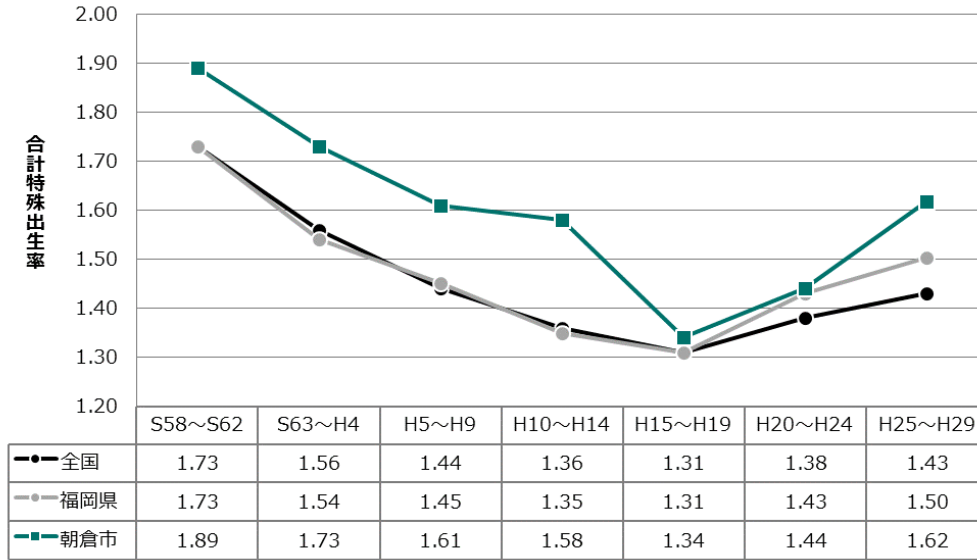
出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

※社会人口増減は、転入者数・転出者数にその他を含んでいます。

(4) 合計特殊出生率の動向

朝倉市の合計特殊出生率(15～49歳までの女性が一生の間に産む子ども数)は、全国、福岡県より高い状況が続いており、平成29年時点で1.62となっています。

■ 合計特殊出生率の推移



次回は令和7年公表

出典:厚生労働省「人口動態統計」

(5) 転出入先傾向(仮)

■ 転出入先動向

8月ごろ国勢調査結果に変更予定

転入数内訳

- 1位 福岡県福岡市 205人 (13.49%)
- 2位 福岡県久留米市 170人 (11.18%)
- 3位 福岡県筑前町 132人 (8.68%)
- 4位 福岡県うきは市 84人 (5.53%)
- 5位 福岡県大刀洗町 60人 (3.95%)
- 6位 福岡県筑紫野市 54人 (3.55%)
- 7位 福岡県小郡市 47人 (3.09%)
- 8位 大分県日田市 37人 (2.43%)
- 9位 福岡県北九州市 35人 (2.30%)
- 10位 福岡県太宰府市 31人 (2.04%)

転出数内訳

- 1位 福岡県福岡市 265人 (15.10%)
- 2位 福岡県久留米市 204人 (11.62%)
- 3位 福岡県筑前町 189人 (10.77%)
- 4位 福岡県うきは市 91人 (5.19%)
- 5位 福岡県筑紫野市 78人 (4.44%)
- 6位 福岡県大刀洗町 69人 (3.93%)
- 7位 福岡県小郡市 49人 (2.79%)
- 8位 福岡県北九州市 45人 (2.56%)
- 9位 福岡県太宰府市 31人 (1.77%)
- 10位 福岡県春日市 27人 (1.54%)

出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」

2. 財政動向

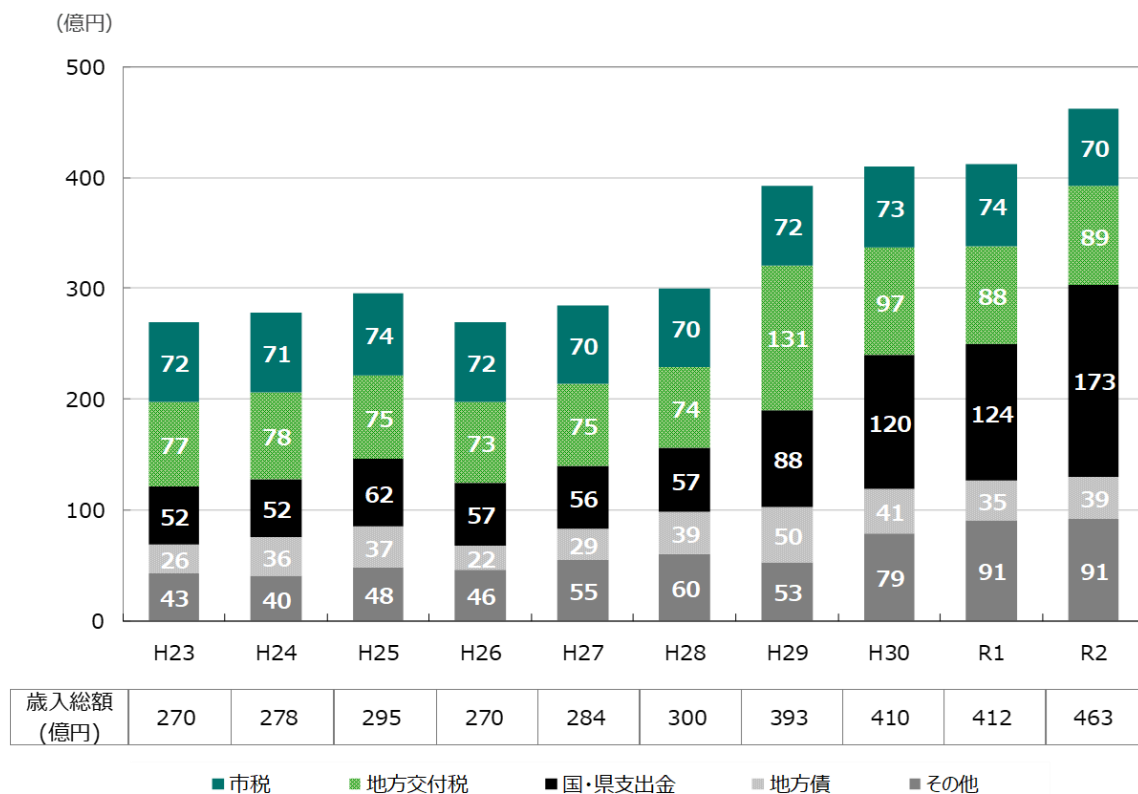
(1) 歳入歳出の推移

【歳入】

平成 29 年度以降に地方交付税、国・県支出金、その他(寄附金、繰入金、繰越金)が、大幅に増加しています。その理由は九州北部豪雨の復旧復興、新型コロナウイルス感染症対策によるものです。

特殊要因を除いた基礎的な歳入内訳では、自主財源である市税の 10 年間推移は、70~74 億円で推移し、横ばい傾向にあります。市の借入金である地方債の直近の傾向は、40 億円前後で、歳入の 8~10%程度を占めています。

■ 歳入総額(内訳別)の推移



※小数点端数表示の関係で、足し上げても合計が合わない場合があります。

※ 凡 例 解 説	
市 税	市民税や固定資産税など、市が賦課、徴収する地方税
地方交付税	地方公共団体が等しく事務を遂行できるように、国から一定の基準により交付される税
国・県支出金	国・県が地方公共団体に支出・交付する負担金や補助金など
地方債	団体が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務で、その履行が一会計年度を超えて行われるもの
その他	寄附金、繰入金、繰越金など

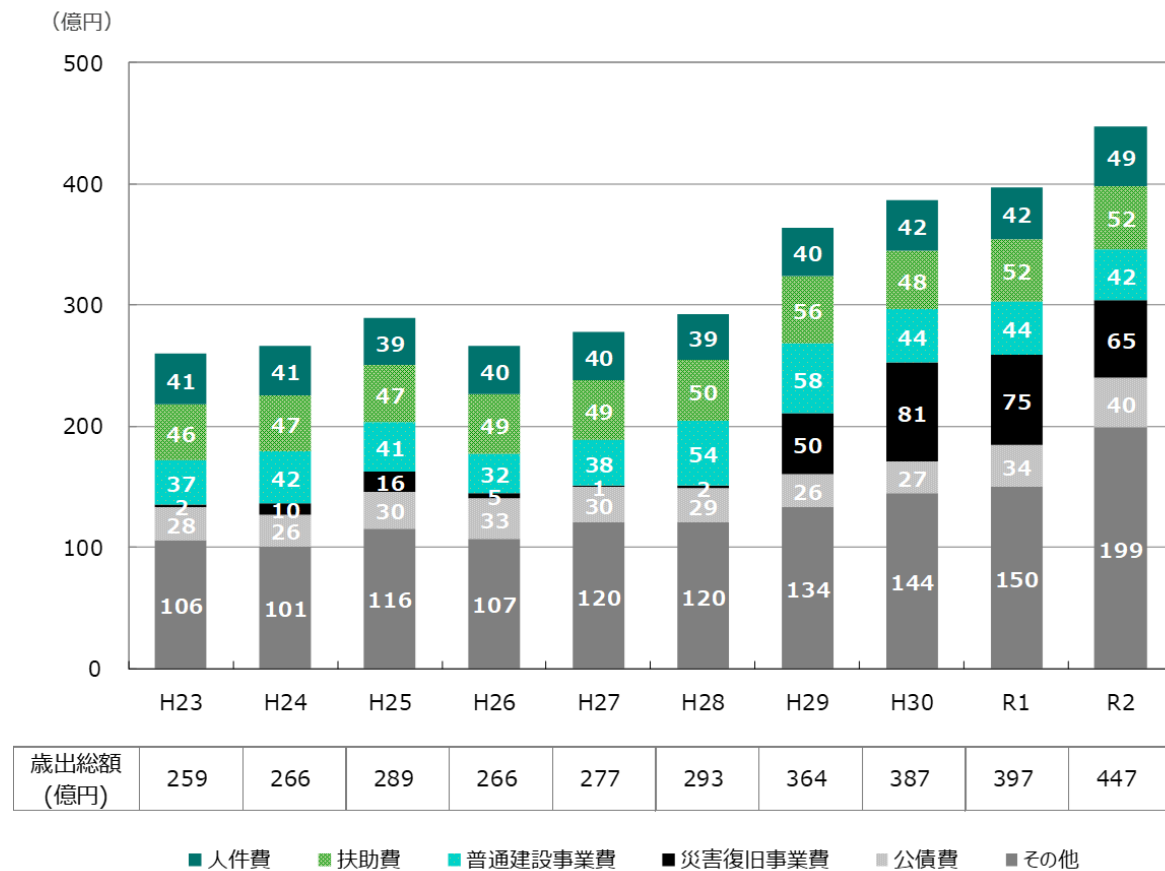
出典：普通会計決算

【歳出】

平成 29 年度以降に災害復旧事業費、その他(物件費、補助費、積立金)が、大幅に増加しています。その理由は九州北部豪雨の復旧復興、新型コロナウイルス感染症対策によるものです。

特殊要因を除いた基礎的な歳出内訳では、福祉等の扶助費が 50 億円前後で推移、普通建設事業費は 40 億円前後で推移しています。市の借金返済の意味を持つ公債費は、増加傾向にあります。人件費は 40 億円前後から災害復興や多様な行政需要を踏まえて増員されたことにより増加しています。

■ 歳出総額(内訳別)の推移



※小数点端数表示の関係で、足し上げても合計が合わない場合があります。

※ 凡 例 解 説	
人件費	職員などの給与や議員報酬などの経費
扶助費	社会保障制度の一環として地方公共団体が各種法令に基づいて実施する給付や、地方公共団体が単独で行っている各種扶助に係る経費
普通建設事業費	道路、学校、保育所など公共施設の改良、新設のための事業経費
災害復旧事業費	暴風雨などの自然現象や大規模な火事、爆発などによる災害の復旧事業(補助事業、単独事業)に係る経費
公債費	地方公共団体が発行した地方債の元利償還などに要する経費
その他	物件費、補助費、積立金など、その他行政サービス提供に必要な経費

出典: 普通会計決算

(2) 財政分析比較

朝倉市の財政分析結果は以下のとおりです。災害復旧等の特殊要因もありますが、概ね健全な状態です。将来負担比率が大きく改善されています。実質公債費率は増加傾向にあります。

■ 市町村財政比較分析表(令和2年度普通会計決算)

	単位	朝倉市	類似団体 内平均	類似団体62 自治体内順位	福岡県 平均
財政力指数		0.54	0.53	24	0.54
経常収支比率	%	92.5	92.1	36	94.8
人口1人当たり人件費・物件費等決算額	円	179,906	155,949	45	144,634
将来負担比率	%	-	28.5	1	63.7
実質公債費比率	%	9.4	7.5	48	8.1
人口千人当たり職員数	人	8.91	8.20	42	8.39
ラスパイルズ指数		99.3	98.0	42	96.3

資料:福岡県 市町村税財政資料集

【参考】財政健全化4指標の推移

(単位: %)

調査年度	実質公債費比率	将来負担比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率
平成28年度	8.6	31.3	-	-
平成29年度	8.1	18.6	-	-
平成30年度	8.1	13	-	-
令和 元年度	8.8	-	-	-
令和 2年度	9.4	-	-	-
早期健全化基準	25.0	350.0	12.74	17.74
財政再生基準	35.0		20.00	30.00

用語解説

○財政力指数(財政力)

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値です。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

○経常収支比率(財政構造の弾力性)

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費(人件費、扶助費、公債費等)に、地方税、普通交付税を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表します。

○将来負担比率(将来負担の状況)

地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、当該地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえます。

○実質公債費比率(収入に占める借金返済割合)

自治体の収入に対する負債返済の割合を示します。通常、3年間の平均値を使用します。18%以上では、新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要となり、25%以上では借金を制限されます。

○人口千人当たり職員数(定員管理の状況)

人口千人当たりの市の職員数であり、一般的に数値が小さいほど効率的な行政経営がされているといえます。

○ラスパイルズ指数(給与水準)

地方公務員の給与水準を表すもので、国家公務員行政職(一)職員の俸給を100とした場合の地方公務員一般行政職職員の給与の水準を指します。

○実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。

○連結実質赤字比率

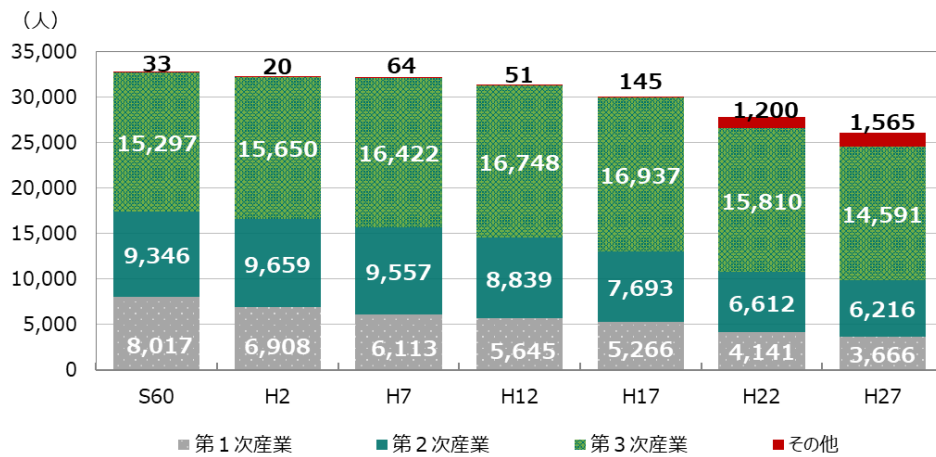
公営事業会計を含めた全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。

3. 産業動向

(1) 産業別就業人口の推移

平成 27 年の就業人口は、26,038 人で、高齢者人口の増加に伴い、昭和 60 年以降、減少傾向を示しています。平成 17 年と平成 27 年の 10 年間で、第1次産業では▲30.4%、第2次産業で▲19.2%、第3次産業▲13.9%となっています。

■ 産業別就業人口

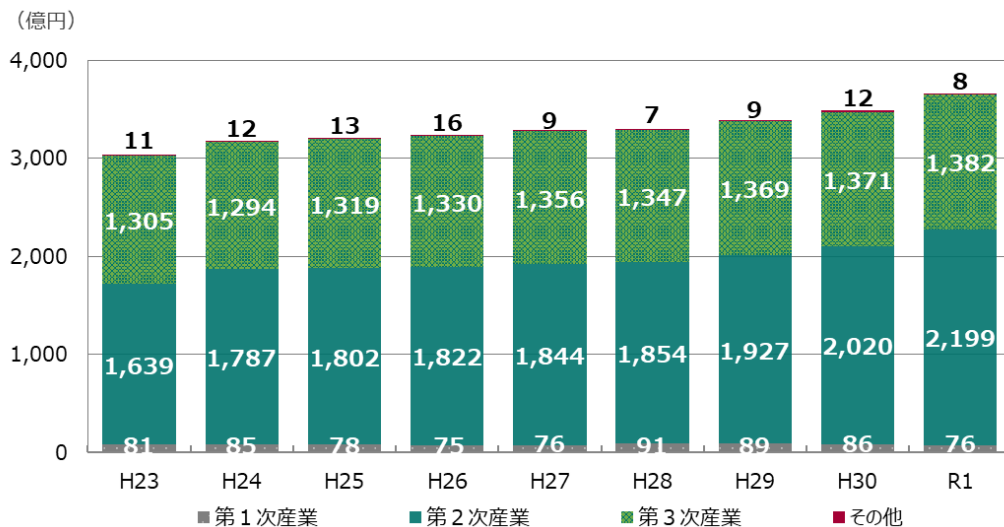


出典：総務省「国勢調査」

(2) 産業別総生産額の推移

令和元年の市内総生産額は、3,665 億円となっています。市内の産業別総生産額では、第1次産業・第3次産業はほぼ横ばいで、第2次産業が増加傾向にあります。

■ 市内産業別 総生産額

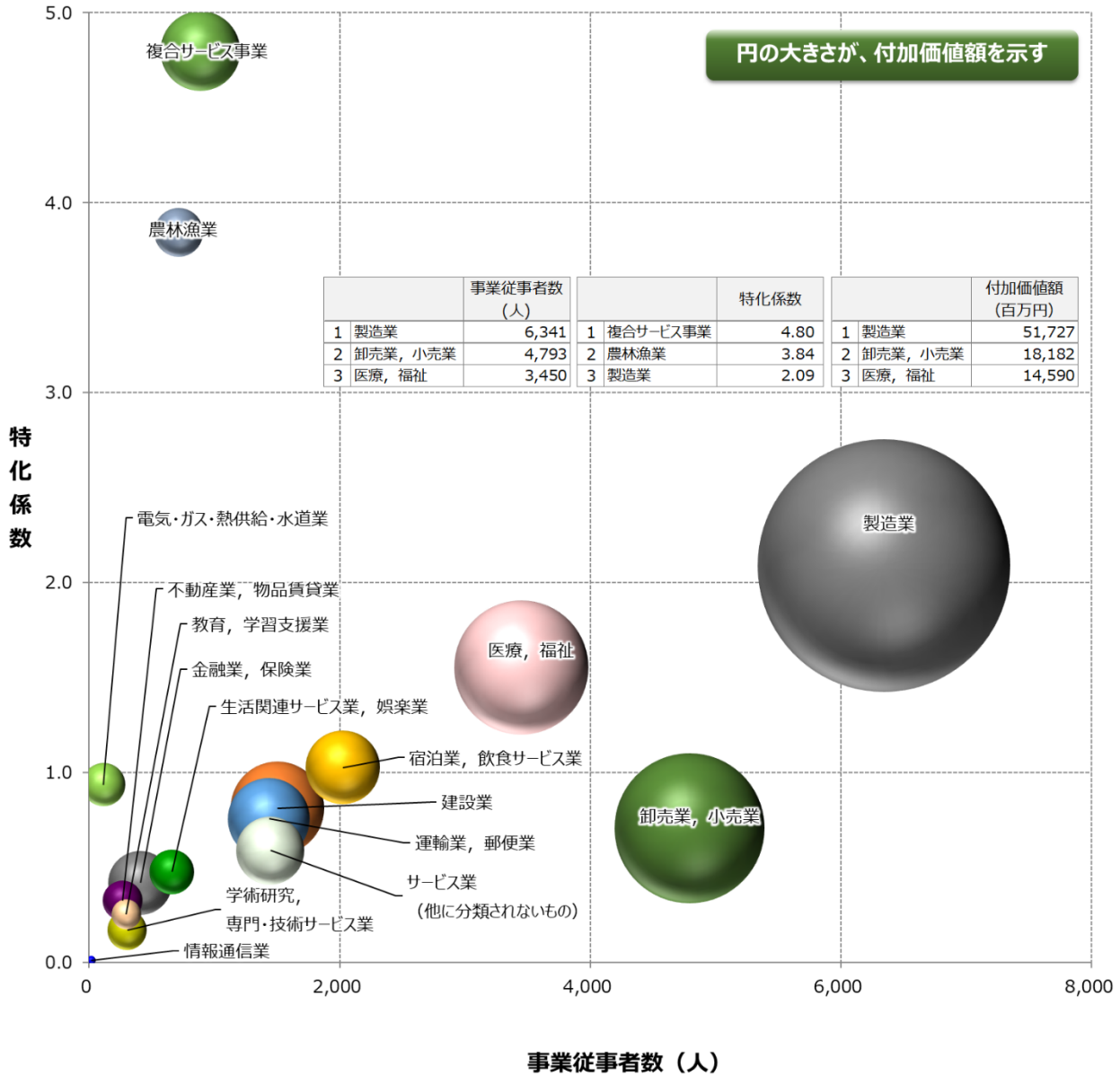


出典：福岡県市町村民経済計算

(3) 経済構造の特徴

雇用と付加価値額(税金に影響)では、製造業の貢献が大きく、雇用で約 6,000 人、付加価値額で約 517 億円となっています。次いで、卸・小売業、医療・福祉業と続きます。特化係数では、複合サービス(郵便局、農協等協同組合)が 4.80 となっています。

■ 事業従事者数(雇用)、付加価値額、産業別国内集積度(特化係数)から見た朝倉市の経済構造



特化係数 産業分類ごとに、全国と市とを比較した指標のこと。1.0 を基準に、数値が大きい場合には、他業種よりも優位性があるとと言えます。

付加価値額 事業活動によってどれだけの新しい価値が生まれ出されたかを表した数値

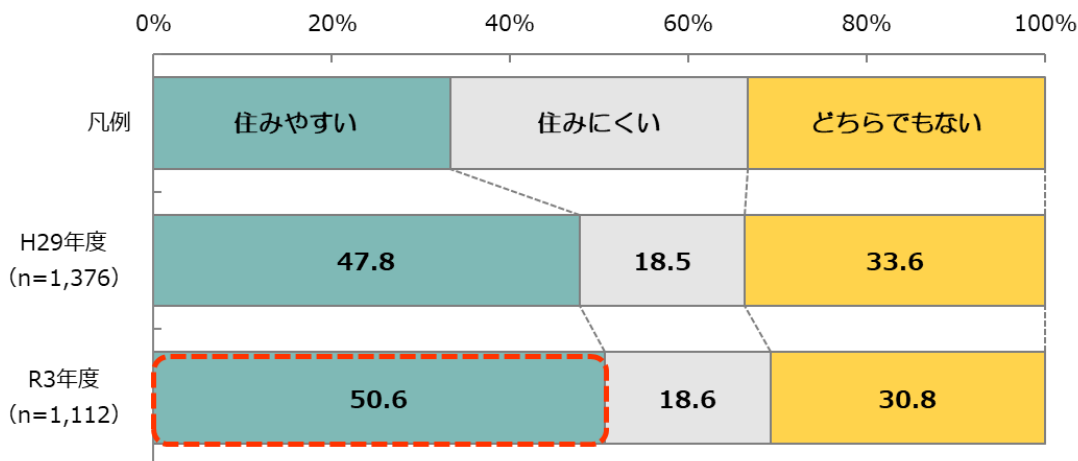
※ 鉱業、採石業、砂利採取業は、該当数字がないもの及び分母が0 のため計算できない「-」の為、表示なし。

出典:平成 28 年経済センサスー 活動調査(事業所に関する集計)

4. 市民意識

(1) 住み良さの変化

朝倉市の住み良さについて、「住みやすい」という市民意識は 50.6%となり、平成 29 年度の調査より約3ポイント向上しています。



※小数点端数表示の関係で、項目ごとの%を足し上げても 100%になりません。
 ※「n」とは、まちづくり市民アンケート設問回答者数です。

住みやすいと思う理由の上位は、「買い物が便利だから」54.7%、「緑や自然環境が豊かであるから」53.7%、「近所付き合いや人間関係が良いから」30.3%となっています。

住みにくいと思う理由の上位は、「交通の便が悪いから」58.0%、「買い物が不便だから」38.9%、「まちに魅力や活気がないから」30.6%となっています。

住みやすいと思う理由（3つまで選択）

買い物が便利だから	54.7%
緑や自然環境が豊かであるから	53.7%
近所付き合いや人間関係が良いから	30.3%
交通の便が良いから	21.8%
道路や上下水道などの生活基盤整備が進んでいるから	12.5%
医療や保健・福祉のサービスや施設が充実しているから	11.5%
災害に対する不安が少ないから	11.5%
子育て・教育の環境が良いから	8.5%
地域やコミュニティ活動の負担が少ないから	6.9%
市内、近隣に働く場が多いから	5.3%
文化やスポーツの機会に恵まれているから	1.6%
まちに魅力や活気があるから	0.4%
その他	3.8%

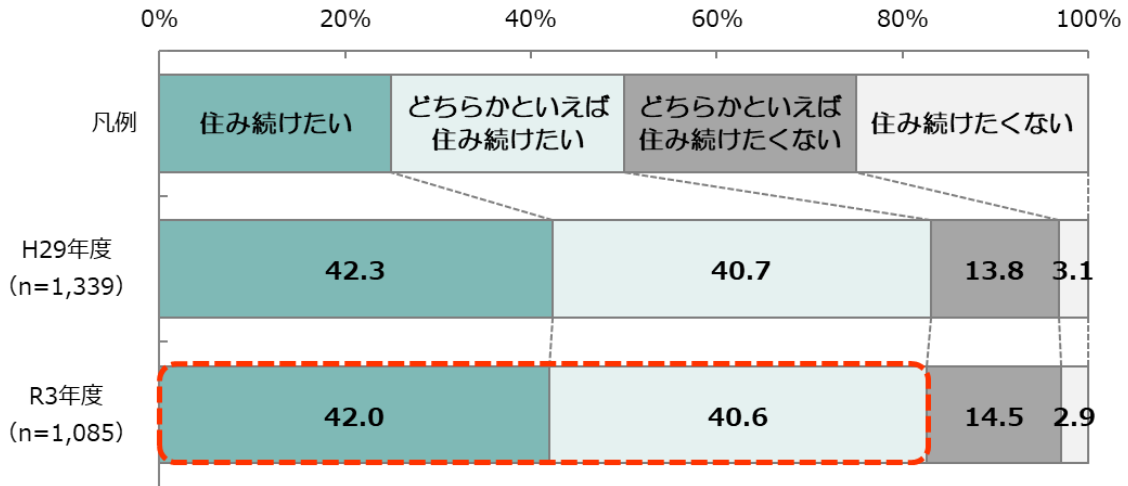
住みにくいと思う理由（3つまで選択）

交通の便が悪いから	58.0%
買い物が不便だから	38.9%
まちに魅力や活気がないから	30.6%
地域やコミュニティ活動の負担が多いから	21.7%
市内、近隣に働く場が少ないから	18.5%
道路や上下水道などの生活基盤整備が遅れているから	15.3%
医療や保健・福祉のサービスや施設が充実していないから	14.6%
災害に対する不安が大きいから	14.6%
子育て・教育の環境が悪いから	13.4%
近所付き合いや人間関係が悪いから	8.3%
文化やスポーツの機会に恵まれていないから	7.0%
緑や自然環境が少ないから	1.9%
その他	12.1%

出典：まちづくり市民アンケート(令和 4 年3月)

(2) 定住意識

朝倉市に「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」という定住意識は 82.6%で、平成 29 年度の調査より 0.4 ポイント減少しています。



※小数点端数表示の関係で、項目ごとの%を足し上げても 100%になりません。

※「n」とは、まちづくり市民アンケート設問回答者数です。

住み続けたいと思う理由の上位は、「土地や家屋があるから」60.4%、「家族や親しい友人がいるから」55.1%、「まちに親しみや愛着があるから」25.7%となっています。

住み続けたくないと思う理由の上位は、「もっと便利なところに住みたいから」65.4%、「朝倉市での生活に不満があるから」25.4%、「市外で就職、進学したいから」9.2%となっています。

住み続けたいと思う理由（複数回答）

土地や家屋があるから	60.4%
家族や親しい友人がいるから	55.1%
まちに親しみや愛着があるから	25.7%
仕事があるから	24.4%
朝倉市での生活に満足しているから	23.4%
その他	2.1%

住み続けたくないと思う理由（複数回答）

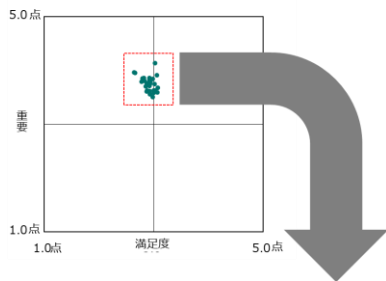
もっと便利なところに住みたいから	65.4%
朝倉市での生活に不満があるから	25.4%
市外で就職、進学したいから	9.2%
仕事の都合等で一時的に住んでいるから	8.6%
その他	16.8%

出典：まちづくり市民アンケート(令和 4 年3月)

(3) 各施策の満足度及び重要度

第2次朝倉市総合計画の施策について、市民が意識する満足度・重要度(令和4年3月回答)を5点満点で整理すると、29 施策の満足度平均点は 2.92 点、重要度平均点は 3.75 点となっています。

■ 第2次朝倉市総合計画における「施策の満足度と重要度」調査結果



※回答選択肢に応じて5点満点で点数化

■ 満足度の配点

- 5点 : 満足
- 4点 : どちらかといえば満足
- 3点 : 普通
- 2点 : どちらかといえば不満
- 1点 : 不満

■ 重要度の配点

- 5点 : 力を入れるべき
- 4点 : できれば力を入れるべき
- 3点 : 今のままでよい
- 2点 : あまり力を入れなくてよい
- 1点 : 力を入れなくてよい

出典:まちづくり市民アンケート(令和4年3月)

